



LETTERS

2023年 冬号

公益財団法人
佐倉国際交流基金

〒285-0025
佐倉市錦木町 198 番地 2
TEL・FAX 043-484-6326

第34回佐倉国際スピーチコンテスト



2023年10月22日(日)、ミレニアムセンター佐倉において「第34回 佐倉国際スピーチコンテスト」を開催しました。午前の部には幼稚園児4名、小学生15名が参加、午後の部には中学生9名、専門学校・大学生4名、シニア3名が参加されました。小中学生に限らず、幅広い世代の多くの方々に出場いただけたことを大変嬉しく思います。

初めて幼稚園生の参加があり、審査員との英語でのやりとりは萎縮することなくスムーズで、決めポーズをとるなどのびのびと発表をしてくれました。中学生～シニアの部では海外にルーツを持つ方の人生のストーリーや熱い思いを緩急つけながら表現力豊かに語り、聞く人の心を掴んでいました。

8月の応募開始時期から練習を重ね挑まれたこの舞台上、それぞれが表現方法に工夫を凝らし、英語というツールに自分の気持ちを込め、堂々と発表されていました。100名近くの観衆を前に英語でスピーチをすることは日常にはない、貴重な経験として将来の糧になることでしょう。

今年度は新たな試みとして、「審査員からの講評」を導入しました。数字での評価ではなく、各スピーチ終了後に外国人審査員から発表者へ、良かった点や感想などを英語で直接コメントをするという方法を取り、通訳もとりました。

更に、外国人司会者と楽しく英語でゲームやクイズをする時間を設け、緊張が解けた発表者のみなさんはとても楽しんでくれたと思います。これらについては、アンケート調査の結果からも大変好評だったように思います。

表彰式では、会場のみなさんが「一番良い」と思う発表者に投票し、最多数を獲得した人に授与される「佐倉国際交流基金賞 The SIEF Prize」と各審査員の観点で選ばれる審査員賞が、各部3名の方に授与されました。各部門とも表彰状と賞品(図書カード)が、また残念ながら入賞されなかった皆さんには、参加賞(QUOカード)が贈呈されました。

結果は下記の通りです。

第34回 スピーチコンテスト運営委員長 橋 正明

受賞者 ※敬称略【幼児～小学生 午前の部】

賞	氏名	所属	学年
佐倉国際交流基金賞	継山 宙良	佐倉市立根郷小学校	6年
審査員賞	宮前 佑梨	市川市立北方小学校	1年
審査員賞	神谷 優寛	佐倉市立千代田小学校	5年
審査員賞	富田 琉衣	佐倉市立王子台小学校	5年



受賞者 ※敬称略【中学生～シニア 午後の部】

賞	氏名	所属	学年
佐倉国際交流基金賞	山口 将矢	佐倉市立井野中学校	中学2年
審査員賞	アビハ サジャド	佐倉市立臼井中学校	中学1年
審査員賞	ギネア 高木 賛美	法政大学	大学3年
審査員賞	高橋 杏奈	専修大学松戸中学校	中学3年



主催:公益財団法人 佐倉国際交流基金 共催:佐倉市

後援・協賛を頂きました個人・団体・企業の皆様に感謝いたします。

後援:佐倉市教育委員会 協賛:佐倉ライオンズクラブ 佐倉ロータリークラブ DIC 川村記念美術館 岡村 美智子 ※敬称略



英語スピーチにこめた

あなたの 思い

聞かせてください!

- Q1. 出場のきっかけは?
- Q2. コンテストの感想を聞かせてください。
- Q3. こだわりのポイントや練習に力をいれたことは?
- Q4. 今後どのように英語を活かしたいですか?
将来の夢や目標を教えてください。

質問の回答は A1.~A4.と表記しています。

審査員賞

アビハ サジヤド 佐倉市立臼井中学校 1年

スピーチタイトル

「 My life journey 」

夢は世界の
TED でスピーチ!



A1. Thanks for giving this opportunity, I wanted to participate to enhance more English and presentation skills. I also wanted to learn from other presenters.

A2. It was really a good initiative by Sakura city to organize this type of event. Students had chance to excel their English presentation skills and to learn from other students.

A3. While practicing, I focused more on my accent and fluency of the speech.

A4. In future, I would like to use more and more English in my daily life. My dream is to become a worldwide TED Speaker, so I will work hard and hard to achieve my goals.

(日本語訳)

A1. このような機会を与えていただきありがとうございます。英語とプレゼンテーションのスキルをさらに高めるために参加したいと思いました。他の発表者からも学びたいと思いました。

A2. このようなイベントを企画した佐倉市の取り組みは本当に良かったです。学生は英語のプレゼンテーションスキルを発揮し、他の学生から学ぶ機会がありました。

A3. 練習中、私はスピーチのアクセントと流暢さに重点を置きました。

A4. 今後は日常生活でもっと英語を使っていきたいと思っています。私の夢は世界的な TED スピーカーになることなので、目標に向かって一生懸命努力していきます。

審査員賞

高橋 杏奈 専修大学松戸中学校 3年

スピーチタイトル

「 What is happiness? 」

表情を変える
工夫が活きた!



A1. 以前、何回かスピーチコンテストに参加したことがあって、佐倉国際スピーチコンテストにもチャレンジしてみたいと思ったからです。

A2. 色々な方のスピーチを聞くことができ感情やジェスチャーなど学べるが多かったです。

A3. 明るい内容だったら笑顔で、暗い内容だったら表情を変えるなどして表情でも内容がわかるように工夫をしました。

A4. 将来の夢はまだないのでこれから見つけたいです。

審査員賞

ギネア 高木 賛美 法政大学 3年

スピーチタイトル

「 Differences are Beautiful 」

佐倉市に住む外国人や
ハーフの人々の声を!



A1. ハーフという立場から学んだことを発信することで、皆さんが佐倉市に住む外国人やハーフの人々の声にもっと耳を傾けるきっかけ作りになるのではと思ったからです。

A2. 慣れない言語で自分の心の内を表現することの美しさ・大切さを再確認することができました。

A3. 自分の伝えたいことが伝わらなければ意味がないと思い、強調したい言葉はあえて小さい声で言って観客の注意を引き、余計な動きで言葉の重要性を薄めてしまわないよう意識しました。

A4. 海外に住む多種多様な人々の考え方や世界観を知るツールとして英語を使っていきたいです。しかし、その過程で日本語を忘れ、日本語だけが表現できる繊細さや丁寧さを失いたくはありません。そのため、英語と日本語の両方を磨いていきたいと感じています。

佐倉国際交流基金賞

山口 将矢 佐倉市立井野中学校 2年

スピーチタイトル

「 My Dream 」

夢はアメリカの
Google 本社で働くこと!



A1. 将来、Global で活躍したいと思っており、外国人の方々とのコミュニケーションをスムーズに取れるようになるため、Speaking 能力を上げたいと思ったことがきっかけで出場しました。

A2. ステージで皆に注目されるため、緊張しましたがたくさん練習したので、落ち着いてスピーチできて良かったです。また、審査員の方にも色々アドバイスいただき、とても参考になりました。

A3. 会場の皆さん楽しんでもらえる内容とリエゾン(単語と単語の連結で変わる発音)にこだわりました。

A4. 将来の夢は Google 本社(アメリカ)で働くことなので、そのためにはまずは日本にいながらできる限りの英語力を上げ、いずれ留学し英語を通じ色々なことを学びたいです。そして、最新の IT テクノロジーを学び世界中の人に役立つサービスを提供したいです。

佐倉国際交流基金賞

継山 宙良 佐倉市立根郷小学校 6年

スピーチタイトル

「 Believe in Ohendan's power 」

2年連続入賞!
英語の勉強続けるぞ



A1. 去年、友達と出場してとても楽しかったので、また出てみたいと思いました。

A2. 緊張しましたが、観客の方も審査員の方もみんな温かく聞いてくれて、笑顔でとても楽しく話せました。

A3. 内容が伝わりやすいように、みなさんの顔を見ながらゆっくりはっきり話す事を意識しました。応援の部分はとにかく全力で気持ちを込めて声を出しました。

A4. パイロットになるのが夢なので、まずは旅行先等でもっとスムーズに英語が出るように、そしていつかは日常で英語が使えるようになります。その為にこれからも英語の勉強を続けていきます。

第5回 日本語講座のつどい

11か国
120名の参加

11月26日に第5回日本語講座のつどいが中央公民館 大ホールで開催されました。

日本語講座の学習者と東京さくら学院の学生から出場者を募り、スピーチの部と交流の部で発表していただきました。スピーチの部では、8人の発表者が日本語で気持ちの伝わるスピーチをされました。交流の部ではダンスや歌、ピアノ演奏などバラエティーに富んだ発表があり、佐倉市内の「和太鼓 椿」の皆さんが迫力のある和太鼓演奏で国際交流に貢献していただきました。

アフガニスタン人の女子小学生の二人は、とても頑張って司会のお手伝いをされました。最後に福引き大会で和やかな雰囲気の中、つどいを終えることが出来ました。学習者の皆さんが、これからも友達の輪を広げられ、日本で楽しい生活を送られることをお祈りいたします。

第5回日本語講座のつどい実行委員長 小川 信義

外国人による日本語のスピーチ 発表者一覧

スピーチタイトル	発表者	出身国	所属
「私の国 ベトナム」	グエン・ガー・マイ	ベトナム	木曜日午前教室
「生きる目的」	ヨスフィ・アブドール・ラジック	アフガニスタン	日曜日教室
「会社の旅行」	タン・スファン・タン	ベトナム	木曜日午前教室
「海」	黄 強	中国	日本語サロン
「人生は一度だけ」	サイード・ムハマド・ファイズ	パキスタン	東京さくら学院
「印鑑の話」	付 威	中国	日本語サロン
「私と日本語」	マリヤム・ホダダット	アフガニスタン	AIUE さくら志津
「Noriko 学級」	ナジロフ・グルバホル	ウズベキスタン	木曜午後教室



交流の部 発表者一覧

演目	発表者	出身国	所属
日本伝統の和太鼓演奏	和太鼓 椿	日本	
ネパールダンス 「手にハンカチを」	サルマ・スプリヤ	ネパール	AIUE さくら志津
歌「夢の世界を」	アチャリヤ・アトミカ	ネパール	日曜教室
歌「A・RA・SHI」	クスマ・インドラ	インドネシア	日本語サロン
ピアノ演奏 「ラ・ラ・ランド メドレー」	ヴ・ホアイ・リン	ベトナム	東京さくら学院
ダンス「Night Fever」	北原 久美子	日本	SIEF 生活相談員
福引			AIUE さくら染井野



このまちで暮らしたいから

まなびたい

新受講生受付中
2024年1月から3学期スタート

周りで日本語を学びたいという外国人の方がいらっしゃいましたら、お伝えください。
レッスン料なし・見学・体験可
日時・場所はホームページで確認できます。



じぶんのできる範囲で

おしえたい

新ボランティア募集

月2~4回、90分 市内の公民館等にて
日本語教師の資格や経験がなくても可。
外国人の役に立ちたい、国際交流に興味がある方は、いっしょに日本語のサポートをしませんか？事務局へお問い合わせください。

佐倉市に外国人はどのくらい住んでいる？ — 国籍別外国人登録者数 — (2022年3月末 資料:市民課)

総計 3,686 人	フィリピン	514	タイ	82	カナダ	18	
	韓国	275	アメリカ	56	イラン	13	
	ペルー	233	イギリス	35	朝鮮	3	
中国	607	ブラジル	101	マレーシア	32	その他の国	1,010
アフガニスタン	590	スリランカ	88	バングラデシュ	28	無国籍	1

もっと知りたい この街に住むアフガニスタン人の生活について

佐倉市は四街道市につづいて、2番目にアフガニスタン人が多く住んでおり、主に中古自動車の輸出業に携わる人々です。

アフガニスタンの正式名称はアフガニスタン・イスラム共和国と言い、イスラム教徒(ムスリム)が多くいます。

ムスリムの慣習については、「女性は髪を隠すヒジャブを着用する」、「豚肉を食べない」、「お酒を飲まない」ということを聞いたことがあると思います。

食事に関しては、アラビア語で合法を意味する「ハラール」な食材、例えば牛肉や鶏肉、羊肉は食べることが許されています。「ハラール」の逆を「ハラーム」と言い、豚やお酒がこれに該当します。醤油や味噌のようなアルコール発酵を起こす製品や、製品の製造過程でアルコール成分を含む調味料(みりん、料理酒など)も「ハラーム」であり、また醤油せんべいや豚由来の食品・原材料(ラード、ゼラチン、ハム、ベーコン)、乳化剤などの添加物やラードが使われている菓子などもそれに該当します。それ故、ハラール認証食品がまだ一般的ではない日本では、スマホの翻訳アプリなどを利用し、商品の食品表示をよく確認しているそうです。

ムスリムの方々の生活様式は日本人社会とは異なっておりますが、彼らを理解し、かれらにも日本を知ってもらう共生の観点から佐倉国際交流基金の日本語講座では、アフガニスタンの成人女性が安心して参加できる環境の整備を進めています。女性ボランティアが講座を担当し、女性同士の少人数グループを作ったり、ベビーシッター制度を利用できる時間帯を設けるなどを行うことで、未就学児の子どもを連れて参加する主婦層が増えています。学習者の中には、子供が学校で配布された手紙について、日本人ボランティアに相談する方もいます。日本の生活の疑問や悩みを共有するなど交流の場になっています。

子どもたちは、市内の幼稚園や小中学校に入り、日本の児童と一緒に生活をしています。学校では日本語の取り出し授業などの支援を受けながら、学校教育を通して、自国にはない慣習や経験を重ね、日本の社会や文化に少しずつ、順応しているようです。高学年になると、親の代わりに日本語での通訳をするなど、率先して家族を助けようとしています。

(※取り出し授業とは児童生徒一人一人の日本語能力に合わせて学習を進める個別指導)

外国人のための生活相談 — 英語、中国語、スペイン語の通訳・翻訳のお手伝い —

行政窓口や病院、学校などで外国人市民とのコミュニケーションにお困りではないですか？

英語、中国語、スペイン語の通訳・翻訳のお手伝いをします。

医療・福祉・教育団体、市役所など公的機関からの依頼を受けます。

費用は無料

- ◆ 市役所窓口での各種申請、手続き
- ◆ 保育所・幼稚園での入所申請、オリエンテーションや面談
- ◆ 学校の入学手続きや三者面談
- ◆ 病院や診療所での窓口サポート



個人からの依頼もできます▶▶

- ◇ 市役所から届く手紙が読めない
- ◇ 学校のお便りが読めない・返事が書けない
- ◇ 保育所・幼稚園・学童保育所の申込書が書けない
- ◇ 学校の先生との面談に同行して欲しい など

利用方法: 事前の予約が必要です。まずは事務局までご相談下さい。

その後、「SIEF外国人支援依頼書」をお送りいたしますのでご提出ください。

問い合わせ先: 公益財団法人 佐倉国際交流基金 TEL:043-484-6326 Email: info@sief.jp

「佐倉市のお知らせ やさしい日本語版」▶▶ SIEF の生活相談員のみなさんと「こうほう佐倉」の情報を元に、外国人の方にも分かりやすい日本語で、毎月発行しています。SIEF 事務局や公共施設に置いてあります。お近くにひらがなが読める外国人がおられましたら、お渡してください。

創立 35 年に向けて「佐倉市国際文化大学」



2023年5月13日 開講式



公開講座「ネパールと日本の絆を創る」佐倉ハーモニーホールにて

佐倉市国際文化大学(以下「文大」と表す)は佐倉国際交流基金の中核事業の一つで、国際相互理解を深め国際感覚を備えた市民の育成を目指す市民大学として設立され、今年は11月末で34年目の活動を終わりました。

文大は毎年3月に受講生を募集して、5月中頃に開講、夏休みを挟んで11月末まで、土曜日ないしは日曜日の午後に年間22回の講座を開講しています。

講座カリキュラムは毎年組み替えられ、国際関係・外交安全保障、多文化共生社会、国内外の政治経済課題、文化芸術や科学事象等を主要なテーマにしながら、多岐にわたる時節にミートした課題を取り上げています。

毎回の講座は約2時間で、第一線で活躍されている大学教授、専門家、ジャーナリスト等を講師にお迎えして、プレゼンテーションいただいた後に質疑応答の時間も設けて講師との対話も図っています。

また講座のうち2~3回は公開講座として市民の皆さんにもご参加いただいています。



発表会 ゼミ第3グループ「江戸時代 旅のあれこれ」

今年の公開講座は、慶応義塾大学 廣瀬陽子教授の「ロシアと中国の反米欧ー世界は多極化の時代」、映画監督 伊藤敏朗氏の「ネパールと日本の絆を創る」、東京バレエ団 上野水香さんの「上野水香、バレエを語る」という幅広いテーマで3回開催し、毎回200人以上の方々が熱心に聴講され大変好評でした。

文大では講座以外にも、受講生の自由参加による自主ゼミ活動、1日バスをチャーターしての課外活動、グループ・ディスカッション、関心度の高いテーマを1件取り上げたレポート制作等も行われていて、充実した学習活動や交流活動を楽しむ事も出来ます。

今年のゼミは、「脱炭素社会の実現」、「成長の未来図ー日本の課題と解決策は?」、「江戸時代 旅のあれこれ」、「土井利勝」の4グループが活動し、学期末には発表会が行われました。

また、課外活動は、「つくばサイエンスパークツアー」として、筑波実験植物園、サイバーダイナミクススタジオ、地質標本館を訪問し、スーパードライミュージアムにも立ち寄りしました。

受講生の定員は100人(2023年度は106名が登録)、参加者の平均年齢は70歳を越えますが、近年若手世代や女性の参加者も増えてきて活発な活動が行なわれています。

文大の企画・運営はすべて文大OBで構成される事務局員のボランティア活動で支えられています。

文大の講座内容や講義録、各種活動は、「佐倉国際交流基金」のHPからご覧いただけます。

2024年は文大の35年目の活動となります。更に一層充実した内容とすべく計画中です。

受講生募集は3月初めに佐倉国際交流基金のHP、こうほう佐倉、チラシ・ポスター等でお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。



2023年11月25日 修了式

イングリッシュサロン — クリスマス交流会と2024年度の募集時期 —

毎月第2水曜日・金曜日に中央公民館にてイングリッシュサロンを開催しています。英語で自分の考えを伝える練習をして、よりスムーズに外国人とコミュニケーションできるようになることを目指すサロンです。今年度は8クラス、87名が参加しています。

12月9日(土)に4年ぶりにクリスマス交流会を開催しました。45名のサロンメンバーに加えて2名の外国人ファシリテーター及び SIEF 理事長、日本語講座運営委員長、事務局長など総勢 50 名が参加しました。クリスマスの歌やダンス、参加者が持ち込んだ多種多様な贈答品を英語クイズ勝者による奪い合い、そして最後に lottery(福引)などがあり、楽しい一時を過ごしました。



2024年度メンバー募集 募集受付は 3月15日(金)から 3月26日(火)まで

佐倉国際交流基金のホームページにて上記の期間で申し込み受付を予定しています。

毎年、人気の為、抽選になることもありますが、できる限り多くの方にご参加いただけるように準備しています。

サロンの雰囲気が伝わるように体験動画を公開中！
イングリッシュサロンのページ「動画で見学」
又は、右の QR から



ご案内

◆ 国立歴史民俗博物館

【企画展示】

「歴博色尽くし」

2024年3月12日(火)～5月6日(月・休)

【第1展示室特集展示】

「北の大地が育んだ古代—オホーツク文化と擦文文化—」

2023年11月14日(火)～2024年2月12日(月・休)

【第3展示室特集展示】

「新出の野村コレクション」

2024年1月5日(金)～2月4日(日)

【第4展示室特集展示】

「四国遍路・文化遺産へのみちゆき」

2023年9月26日(火)
～2024年2月25日(日)

【くらしの植物苑特別企画】

「冬の華・サザンカ」

2023年11月28日(火)～2024年1月28日(日)

*開館時間・休館日等、最新情報はホームページ等でご確認ください。

<https://www.rekihaku.ac.jp>



星飛竜 (ハルサザンカ群)

◆ DIC川村記念美術館

「カール・アンドレ 彫刻と詩、その間」

期 間:2024年3月9日(土)

— 2024年6月30日(日)

開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日 :月曜(ただし4月29日、5月6日は開館)
4月30日(火)、5月7日(火)

*最新情報は DIC 川村記念美術館 HP でご確認ください。

<https://kawamura-museum.dic.co.jp>



佐倉国際交流基金 事業報告

1 国際相互理解推進事業

- 公開講座
 - 佐倉市国際文化大学
 - 佐倉国際スピーチコンテスト
 - イングリッシュサロン
- ### 2 国際交流活動支援事業
- 国際交流団体へ助成

3 外国人支援事業

- 外国人のための日本語講座
 - 外国人のための生活相談
- ### 4 その他附帯事業
- 国際交流ボランティア
 - 後援事業
 - 国際交流活動等情報提供

当基金は運営ボランティアの皆様と賛助会員様のご理解とご協力の元に運営しております。

ご支援賜り厚くお礼申し上げます。

心より感謝致します。

公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局 (SIEF) 関口・村瀬・古澤

〒285-0025 佐倉市錦木町198番地2 レインボープラザ佐倉 2F

電話・Fax 043-484-6326 (月～金 9:00～17:00) HP: <http://www.sief.jp> Email: info@sief.jp